

## 一宮地区振興計画の実行力向上事業

『住みやすい一宮❶』『住んでみたい一宮❷』をめざして

雲南市三刀屋町 一宮自主連合会

### 1 一宮地区の概要

- ・雲南市三刀屋町の「北」に位置する一宮地区
- ・人口：三刀屋町 7,340 人  
一宮地区 1,960 人
- ・地区：給下・伊萱・高窪・古城の4地区
- ・学校：三刀屋小学校、こども園
- ・名所：峯寺、三屋神社

あり、地元企業との連携という新しい取り組みをしている。

- ④ 「買い物弱者」対策として移動販売車を運行。業者に協力を得、現在7自治会で実施中。

### 2 事業の趣旨

一宮自主連合会では、地域のアンケート結果を基に、平成29年2月に一宮地区振興計画「住みやすい一宮❶住んでみたい一宮❷をめざして」を作成した。

今後これに基づいて、地域課題解決の取組みを行う。振興計画の中から「やれるところからやってみよう！」と、地域の皆さんを取り込みながら、住民参加の促進と、より良い一宮を目指す「キッカケ」となるよう進めていく。

### 3 具体的な取組内容

- ① 学習会、研修会等で地区振興計画「住みやすい一宮❶住んでみたい一宮❷をめざして」の周知を行いながら地域の皆さんとの語り合いを進める。
- ② 緊急時に本人の医療情報等を的確に知らせる事業で、医療等情報シートを作成し、「見えてみてボトル❸」に入れ、冷蔵庫に保管。
- ③ 人権・同和問題解決は、地域、家庭、学校、企業等の連携が必要で



①-1 女性学級



①-2 高齢者学級



②見えてみてボトル！



③お笑い人権高座



④移動販売

#### 4 評価と成果

念願であった5年先、10年先の指針である「一宮地区振興計画」が完成したことが、一番ではあるが、アンケート調査から策定委員による話し合い、そして策定という流れが作れたことが成果である。その中で、一宮の魅力や課題・問題点を話していくと、「抱えている課題はみんな一緒なんだ」「お互いに助け合える地域にしよう」という声が聞けた。

一宮に「住み続けたい」という意見が多い中で、これからどうしたら「住みやすい一宮」「住んでみたい一宮」になるのか、考える、話し合える良いキッカケとなっていく。

更に、振興計画書を基に地域の皆さんに「みんなでやれるところからやってみよう。」と声掛けをし、実施していったところ、自主組織への理解が少しずつではあるが進んできたのかな、と感じた。

#### 5 今後の課題と見通し

アンケート調査から3年かかって振

興計画策定、そして実践・実行となったが、地域の実態は3年前とほとんど変わっていない。むしろ、人口の減少、一人暮らしの増加、農地の荒廃は確実に進んでいるのが実態である。それを食い止める方策を地域で考え実施することは容易ではないと考える。

振興計画に記載したことが全てではない。今後も、随時意見を集め、肉づけをしながら、押し付けではない、地域住民みんなで考えた取組みを進めていく必要があると考える。

アンケートの中で「お互いに助け合える地域」であってほしい！とあったように、いきいきと暮らせる地域づくりを目指していきたいと考える。

振興計画書に記載している中で、今年度から実施している三つの事項の継続・拡大を更に進め、いま出来るところから、一つひとつ進めている。



一宮地区振興計画

文責：一宮自主連合会  
事務局長 陶山隆樹